



由良町 十九島 (つるしま) 通称 スヌーピー島



発行所 和歌山県高等学校 教職員組合 和歌山市雑賀屋町東ノ丁50 TEL 073-432-6355 FAX 073-432-6357 Eメールアドレス w-koukyoso@image.ocn.ne.jp

2024年 1月 新春号

執行委員長 支部長のご挨拶



声を上げることの大切さ 確信を深める一年に 仲間と助け合って、安心して働き 豊かに暮らせる職場・地域・社会を

執行委員長 石原 徹



組合員の皆さん、新年明けましておめでとございます。日々の教育活動・組合活

動に奮闘されていることに心からの敬意を表します。

平和・人道の危機が続いています。昨年10月に始まったパレスチナ自治区ガザとイスラエル間の戦争。圧倒的な戦力の違いを背景に行われているイスラエル軍による空爆・軍事侵攻により犠牲者は25000人を超えています。40%を子どもが占めると報じられています。大量殺戮を今すぐやめろ！世界のほとんどの人々が抱く思いで戦争をやめさせる、停戦に導くことが国際社会の緊急課題です。

年が改まった1月1日夕刻、能登半島沖地震が発生しました。半島地域への支援に伴う困難についても伝えられています。和高校としても、早期にまずはカンパ支援活動に取り組みます。

国内ではまた、岸田・自公政権への国民の怒りと不信がうずまいていきます。上昇を続ける物価に追いつかない賃金。実質賃金は30年間の長きにわたる横ばい状況が続いています。さらに、パーティー券

収入を裏金としてきた自民党の金権腐敗体質が明らかになりつつあります。「政治とカネ」の悪習は、問題にされた時点で『当面は自粛しよう』など、根本的な対策をせず、抜けどの用意された規制にとどめてきたことにより温存されてきた、根深い問題です。

6月に閉会した211通常国会では、平和憲法の理念を覆す「敵基地攻撃能力の保有」と大軍拡・原発新増設やALPS処理汚染水の海洋放出、沖縄の民意を無視し続ける辺野古新基地建設、不具合・障害を無視してすすめるマイナンバーカードの押しつけと健康保険証廃止、インボイス制度導入による小規模事業者・フリーランスへの増税・生活圧迫など、国民の願いに反し、その苦しみを増大させる法案が次々と強行可決されました。

しかし一方で、ガザ問題では、12月に行われた総会の緊急会合においてアメリカの拒否権行使による安保理決議不採択の直後、総会において186か国のうち153か国の賛成により、即時停戦や全ての人々の解放などを求める決議案が採択されました。国内でも国外でも、労働組合がストライキを背景に果敢にたたかい、要求を前進させた年でもありました。

2024年はさらに、いのちをまもるため、くらしをまもるために声を上げることの大切さ、声を大きく広げることへの確信を深める1年にしようではありませんか。

現実には、日常は、いろいろと悔しさを感じる出来事にあふれています。考えることをやめてしまえば、もっと気楽に日々を過ごせるのでは...と逃げたい気持ちに襲われる時もあります。が、一人ではくじけそうになる自分であっても、仲間と助け合い、励まし合って、安心して働き、豊かに暮らせる職場・地域・社会をつくっていきましょう。組合に入って活動することの「メリット」はこれだと私は考えています。一歩一歩、一緒にすすんでいきましょう。本年もよろしくお祈りします。

なんとなく思っていること



第一支部 支部長 角田 幸太郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年の5月に新型コロナウイルス感染症が感染症状上の位置づけが5類となり、学校もコロナ前の様子をとり戻しつつあるように思います。那賀高校では、那賀祭の前夜祭が復活し、ここ数年見たことのないような元気な生徒たちの顔を見るのができました。授業だけではわからない生徒たちの様子もたくさん見ることができ、勉強させてもらうことがたくさんありました。自分が学生だつ

た頃と同じように、やりたいことを楽しめる環境がようやく戻ってきた感覚がありました。ただ変わったところといえば、コミュニケーションの取り方ではないかと思えます。自分が学生の頃はコロナのような感染症もほとんど気にせず、流行の情報を雑誌、テレビなどの媒体で得て、翌日に教室で友人とその話題について話をするといった直接コミュニケーションをとるものがほとんどでしたが、今はスマホやタブレットなどの普及でSNSを通してコミュニケーションをとることが多いような気がします。情報伝達の面では非常に有用であるとは思いますが、便利さの裏で面と向かってコミュニケーションがとれない生徒も少なくないような気がします。逆にSNSなどによって救われている生徒もいることは事実なので、ツールは使



初日の出

い方次第なんやなあと感じています。昨年度の終わりに支部長の話を引き受けたものの、気がつけば一月。第一支部書記長の都築先生をはじめ、周囲の方々に多大な迷惑をかけているにも関わらず、助けていただきここにいます。感じたので、今年こそは何かと立ち立ちなければ、という思いです。今年もどうぞよろしくお祈りします。

能登半島地震で被害に遭われた方々に 謹んでお見舞い申し上げます

元日に起こった能登半島地方を震源とするマグニチュード7.6の地震による被害状況は日を追うごとに深刻さを増しています。今回の地震で、石川県内とその周辺の地域では、多くの死傷者や避難生活を余儀なくされている方がたくさん出ています。和高校では、全教と協力しながら、被災者の支援、被災した学校施設等の再建などを目的に「緊急支援カンパ」にとりこんでいます。すでに各分会へ通知を送らせていただいていますので、みなさまの心温まるご協力をよろしくお祈りいたします。

「緊急支援カンパ」に協力ください

続けていくことが大事



第二支部 支部長 岩田 邦男

明けましておめでとう... 昨年度はコロナがインフルエンザと同じ扱いになり、学校も日常の活動に戻りつつありますが、コロナ禍の3年間で、子どもたちに与えた影響は計り知れないものがあると思います。今後コロナ禍で入学した小学1年生の子どもの様子や、成長にどのような影響や問題が生じたかを検証する機会が必要であると感じます。



和歌山市 友ヶ島

話は変わりますが、第二支部の支部長として様々な会議に参加しました。身の回りの生活に関する様々な事を考え、気づかせていただく機会になっています。世界情勢や、地域の太陽光発電などの問題、義務教育段階での給食無償化など、様々な問題について考えることが増えました。日々の学

すべての人の幸福は権利である



第三支部 支部長 名原 伸子

あけましておめでとう... 今年もみなさんにとって幸せな一年であるようお願いいたします。私が組合員になったのはずいぶん昔のことです。その当時は、職場では若い先生のほとんどの方が分会に入っておられ、レクリエーションなどを企画されていきました。私は仲間に入りたくて分会に加

校での教科指導やクラブ指導に追われて、あまり考えが及ばないことが多いのですが、身近な和歌山市の様々な労組で取り組まれている活動に触れ、良い機会になりました。自分の生活とのバランスを考えながら、頑張りたいと思います。私事ですが、美術教師として、細々と絵画制作

を行っていません。1年大作1枚と、小品を何枚か描いていますが、なかなか大変です。生徒に美術を指導しているから描いているわけではなく、せんが、指導者として、日々手を動かしていかない、すぐに手が思うように動かなくなってしまう一枚でもよい作品が出来るように続けていきたいと思

最近、労働をめぐる様々な問題が社会で取り沙汰されています。そのことに伴って労働組合の果たす役割も年々重要度を増していると感じます。

和歌山県の教育現場も労働環境という視点から見ると看過できない問題が山積しています。教職員が安心して働ける場を確保するために、組合の役割は非常に重要であると考えています。以前に比べると組合への加入者総数はかなり減っているのが現状ですが、それが労働に係る問題が解消し、職場が働きやすくなったというのを意味するわけでは

退職された組合員の先生方と話すのですが、今の若い先生が組合に入らない理由は、余裕がないかと思

多くの先生が、声を上げるための時間と体力、そして何よりも気力を奪われている状況を感じています。しかし沈黙は容認につながりません。若手の教職員の方々に加



広川町 広村堤防

退職された組合員の先生方と話すのですが、今の若い先生が組合に入らない理由は、余裕がないかと思

私事ですが、高校で福祉科の授業をしています。福祉の授業では、わが国では、全ての人のいのちや健康が守られて、幸せに暮らすことを目指していることと学びます。生徒の中には、そんなことは理想だという人もいますが、それは国民の権利である

と伝えていきます。福祉を学ぶことで、権利について考え、幸せな生活を送ってもらいたいと思

教師の仕事って



第四支部 支部長 西下 耕平

高校生の息子に「教師の仕事って、ほんまにブラックなん？」と聞かれたことがある。「どう思う？」と逆に質問。「帰日も遅いし、土日仕事に行くことあるしなあ。けど、残業代出るんやろ？」「いやいや、実は...」会話の

上を向いて歩こう



第五支部 支部長 中岸 速人

新年明けましておめでとう... 「上を向いて歩こう」は故坂本九さんが、1961年にリリースした歌で、アメリカでも「スキヤキ」という名で大ヒットした楽曲です。60年以上前の歌ですが、日本でも多くの歌手がカバーしている

「上を向いて歩こう」は故坂本九さんが、1961年にリリースした歌で、アメリカでも「スキヤキ」という名で大ヒットした楽曲です。60年以上前の歌ですが、日本でも多くの歌手がカバーしている

続きはご想像どおりである。文科省の調べでは、2000年度の全国の教員採用倍率は13.3倍で最高値、昨年度は3.7倍で過去最低となった。募集枠と受験者数は年度により違いはあるものの、ここ数年の倍率は減少の一途をたどっている。大分県の「定員割れ」はショッキングなニュースだった。教員離れともいえるこの傾向や教員不足は、労働環境も一因だと思われる。

「給特法」の問題は、教員の労働時間と賃金に大きな影響を及ぼしている。全国的に週の学校内勤務(持ち帰りを含まず)が

50時間を超える教員が60%以上もいる現状だ。「教職調整額」4%はその超過勤務分に見合う金額とは到底いえない。「給特法」では、教師として児童・生徒に対して真摯に向き合い、労働時間を顧みず献身的に係わってきた時間を「自主的な行動」と解釈してきた。国の教育行政が甘えてきた「つけ」が回ってきたと言わざるを得ない。

ただ、先生という仕事は決して魅力がない職業ではない。私も、多くの生徒と関わりながら貴重な体験をし、自分自身も成長できたと感じている。数年後には退職を迎えるが、本当に教職に就いて

「上を向いて歩こう」は故坂本九さんが、1961年にリリースした歌で、アメリカでも「スキヤキ」という名で大ヒットした楽曲です。60年以上前の歌ですが、日本でも多くの歌手がカバーしている

聞くと、多くの勇気ややる気をもたらします。会議が終わる頃には、来て良かった、また職場で仕事と組合活動に頑張るぞとそんな気持ちになれます。だから、「組合って良いな」同じ仲間がいて良いなと思えること、これが大切だと思



田辺市 天神崎



串本町 鯛島